

重慶露語放送 (二十九日)

(大阪遞信局聴取)

論説「記者との會見に於て蒋介石は現下に於ける抱負に就き語る」

二十八日孫文記念會合に於て、蒋介石は、現下國際政局の變轉と中國の武力抗爭に就き、次の如く答へる所があつた。

○國際情勢の一大變轉に對する閣下の見解如何?

獨ソ不可侵條約の締結に依て國際情勢は急轉し、その結果は日本が敗者として局外に閉出しを喰つた形となつた。本事件は結局世界平和の爲により好都合な展開をなさしむるものと考へる此の影響は吾中國の位置に及ぼす所のものも大である。吾人は武力抗爭既に二年餘、平和の破壊者に抗爭し來つた。國際情勢はこの平和破壊者の能動力を中心に周轉し、平和確立への方向を取り來つたが、此後は更に侵略者への讓歩を一擲した強硬工作に向ふであらう。吾中國はかゝる意味に依て七月七日記念日に強調せる如く、極東アジアの平和確立の爲に更に強固なる侵略者への抗爭を根本策とするに至つたのである。吾人の目的は世界平和の確立にあり、その爲の實踐として武力抗爭が重大意義を有つて居るものだ。此の事は再三吾人が主張した所だ。

○ヨーロッパ戦争は防止されるか？

平和の破壊を主張しつつあるのは獨り日本軍當事者のみで、彼は世界戦争を欲して居るものだ。ヨーロッパの情勢は益々平和への強化工作の行れんことを期待すると共に、特にルーズベルト大統領の政治的手腕に期待する。中國の現状にも一層效果的考慮を俟つものである。

○……中國の武力抗爭現状如何？

余は國際情勢の變轉と共に、中國人と人民が武力抗爭をその當初に戻り、再出發の決意を以て是に望むべきだと主張するものである。軍民一致以て強硬なる決意の下に是を實行すべきである。是に就て余は、武力抗爭根本方策として軍民一致の組織を此の際完全化し、今日の……軍民一致の……すること、次に武力抗爭は自己防衛であり、事變當初より獨立の爲の武力抗爭を標榜し來つたが、……その目的の遂行の爲には全く不變不動の原則に立つもので、吾人は軍民共に此の武力抗爭の目的を貫徹せしむる事即ち吾人の國際情勢に於ける位置を強化決定づけるものであることを深く認識すべきである。次に新なる國際情勢の展開に依て吾人の武力抗爭が益々その意義を深めるに至つた。敵はいよいよ國際的にも弱化するに至つたとき、一般の……あくまで武力抗爭の究極目的を貫徹せしむべく、各軍、民共に協力最後の勝利に勵進せんことを望む。云々。

内閣情報部八・三一

情報第六號

一、外國無線局發信電報放送（二十七日）——（朝鮮總督府遞信局攝取）  
一、重慶ロイテル新聞電報放送

現下の歐洲逼迫に獨謀不侵略條約の締結は重慶に奇妙な影響を齎してゐる、極端に反ナチス的なソヴェート映画「マムロツク教授」が少し以前に當地の映畫館で公開された、この映畫は後に當地ドイツ大使館の申入によつて一部を削除のため撤回されたが、本日同映畫の再公開が發表された途端、今度はソヴェート大使館の要請でそれが撤回されたことが判明した、明かにソヴェート側に於て反ナチスの宣傳を控へんとする意向によるものである。

二、成都中央通信社新聞電報放送

最近バンコックより到着した者によるとタイ國の反支運動勃發以來シヤム在住の支那人三千名以上が當局によつて投獄せられた、即ちシヤムのクーデター以來シヤム當局は日本の煽動に乗つて支那人に對して差別的行爲を採り始めた、彼がバンコックを去る時迄に内地に於ける第一の支那人學校である中華中學を含む四十校以上の支那人學校が閉鎖された、又シヤムで發行されてゐる支那新聞も全部發行禁止に會つた、支那人團體、組合、商業會